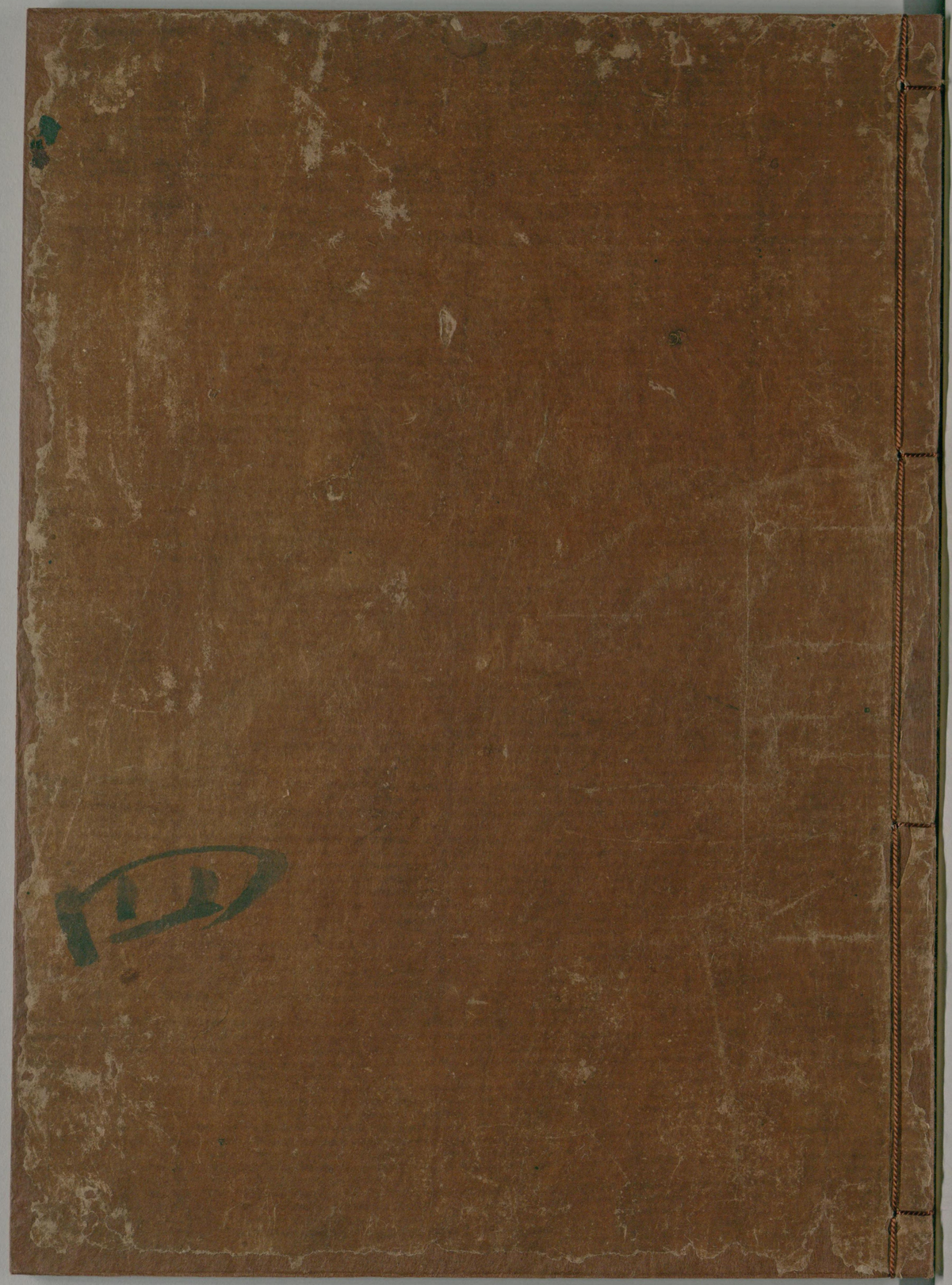


国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243

ガラス使用

WA7
243

曽我物語巻第四目録

十郎げんぶくの事
そこわうそこ孫へのがなる
のさぎらどのそこねはさんけいの事
そこわうすけばほうあひしる
見あんじやくの事
そこほうろのあくぐつしる
そこわうのぎんぶくの事
そくのりんだうかうゆるる
小二郎かたらひ思され事
おかいうの思ひうむれる
あいたびやう志のあんくまの事

共十二

書
14.11.22
国会図

02Wc6125

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243

ガラス使用

見うらの所にうひのる事
ようをぶしてうつ為ゆきし事

曽我物語巻第四

十郎けん物くの事

くまうぬん相しむへしと此人をまこされことゆるひきゆくこさ
法門のぬ月日のさるまて一まんを十三さいうしなるにかけるの所
姫さうなるうしまさくをうをとくの所ゆるしなれをひそのよりん
ゆくしてまくちくのなをうりうの此十良すけなりとおのりける
をこわうをこ孫へ此が所る事
母れとくのをこまうをよひよさてのこまひけるや五とのやをこ
孫の為けなうれりと為ゆ気ほうしにあるにかくそんしてれやれ
こせやふらんゆめくれとこうらや海しくなりに為かしまよを
此のおくまな連を連うら気しんさうの絶もうろもうなすしす
せんていわうも力をすそ人にたいするにところなしうきをつら

きゝよのなりをゆめそこ思ひ出さむ事しきゝへきく火りくまん
うむ志やを母のとしへ給ひし御ことをみこのうとくしたまら
たまひそよう天百丈あらりんまそあと給ひしりさ為そほうし
とるまて又れあとともわらをりこしやうをもたすけ給へとゆし
御れ申れをそこわう勇うしをふるあれとおりひ申れともうを
たまりまはとそ伊ひける母よろこひて志やうねん十一さいより
をこ祢うしれかせこし月城をくまけるりとうしをこわう十三ふ
そるまよける十二月下志四しんのよろりれちことう志四
宮二十よ人あるけるとれともれすゑまそれ屋志こし夫町さより
めんくよいんしんともありけるまくれ空う夫さるあとをあ
こあ家ひそくもんさんのしやううくうし志の御をうゑのをくまと
ものそへさる文もありあれひそ又のあとをくの文おちたもの姫

みとて二川三川よむらあもあるまえ法六法よむらこもありける中
うしをこまうそさるをくれあとをうるまにうくしやううくそ
為そをくまけるよ法川うしや海してあとたりとふへりこつう
まゆ夫なきしかまてあれらこふあひてりひまるそへそれ又を
そのあとをこし夫町され法ふ見とそよこ為ふうし我そさしをく
の法姫ほりりそ又とやらんの法姫をそしらをなれとりしま
さる猶うや見せ給へ十郎殿と二のみやとのそなれとやらん
此程をうきさしとひ居をんうりとのそまりまをとも一とのこ
とけてあもあけうを一月ふ一とならとも又の御ふ見とそ聞く
そんよくせよ世ようするなくなしそいられたてまつらをいりをり
まのうれしくおそろしくもありなりいけよりもうらめしき
をしのくれこひしくみこさそれそ又れ法姫をるまとそ御めさ

ちからなきにれそちのこの國の住人大ものの三郎のれとしまこ
のゝ又郎のけひきこそをまゝに海あされ大ちからをいけのれ
宅にくのなきまてかこて城をれちてすまふり三ものちてこ
ういとゝなをあけ給ひしのうまをさいこまてうまりさ海りあ
へなくうされたはひき大ちからとやしせともものみちにをちの
らをよをひとそかこをけるをこわうそ又のむりしを待くくと
きていさ待らなれむちしてこの社のなきこにむせひろこ遠く
あわてまれこれあひたいれ子孫のひ乃のれふにようを見し
うりのひよりてびむぎよくを一ことおさしいりのもならんと思
ひ待こめて待をうをこれに海し海せ待うしようよら母五ら
むへをちかくよりてもらしりこを山てこにおもめそまて人をみ
こらぬをむかるをちかくよりてみしらんとてあのちの行しきれ

て待りしやまきこるにきりかこなをまれりさしかくし火を
ゆれ中をぬきぬくすけ待母のうこちらかくそ孫らひよりける
すけ待ねをこはしのこやうのやありけん梶原三郎ひやうこを
見たてくをこわうをこれあてこれなるわらんへ乃にかこ申し
りをれの三郎りにこるをれりれ海ことやあの法山にいとう
のまこれありときけをりしこれにてもやをらんとめをそれ申を
まをりけれをしうなくよらさりけるますけ待母をよくくみ遠
そにかあのみの見しのかたきこ井をあしもたりふところなし
すけ待ねをけんこ思いてくれら火こ思の中見たち入ていとう
れ入だうの戸ごあの法山にんとをくいけくれをうにはうや取を
そなれとやしうとくひけれをあ海そうやしやうはなをもそこわ
うとのとやしてをれたうのをうりましくはあのころそ申と

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

ひるうちのりおひ御気見まほ志まの小四郎うちつれて又
十きうりまそうちのこゝあゆまをかれもあうなく二きりけ入
てうこゝん事ゑのすふましいらあの大事まそをかれも志そ
むしまうをまんよりさしなにとなくと成らんとしふをいのにと
いふこれむしまも即しようとそうち御まそと成まるこれよりの
色らを人もあやしと思ふへし御いてうし見うらへとを見ゆへと
てをれのふひ気御のまそあゆまをゆく程うりれそのさくらを
ゆ気ぬきやうたいそ見うらを色ようゆ気うりけれ

色い六ひやう志のあんく王乃事

あしか十郎の力うりあてくおもそさ御しきこそ出きけれゆ
色をいりふとこれぬるにこうらの色い六ひやう志のさいらよそ
あひ御をのといれや太郎のむすめまを此人くとそいとこなり

ようせうよりれをふやうちられていとううりありけるかとふ十
郎と一所ふうたちを見ゆくせいしんするかとふ十郎の
まふ志のひてあ御あ城りけるをけるたの志のむさしふのけれも
ゆへゆもとりすへ見ことれ御海ゆもあこむへ見ゆ志成かこきを
うこむせおりひまるあひたいへと五すれてこゝかれりと色うの
よひまる即くて目のすをめる程うちくこれとも志らをしてを
い六兵衛ふあををへしとそこひけり志れふことなれも志らて世
いこんれむすめひこりをくへきうりあらすとて見うらを色や里ふ
けり女又りこれるまありといふへきよあらね色十郎の即こを
志のひて文をや里くもしくとふ御れとも書をくしく海ことの
つきこもたのきさりけれもうらこの神しかおくのこまてれや
うしをりうそれてらうらをよそひしてうしむらの即こを色ゆ気ふ

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

気ていやしかれせ八郎も思きりよるいろ所しされそれまく
と後里まるを力我のろくしてなをなもくすれそ十郎しんにしぬ
へきのいとれの家くこそのやうのるをいふへ気まやかしきは
里しるとよるを

みしられかさうひのる

又あの人くのれをひとりしうしられ色けたりといふそのあり
かさりひと伊ひてゆうなりひ女をかしけりひるを色けたりなる
くれさ女をかけるしを女等きやをかしすまりひかりは
にも女をしけめんといひけれそいりてまかれらていれものり
おりひの色たてまつりへきけすつ程のゆふ戸くれの後乃たより
れつれくをなくさひにこうつきよりのちそおりひすそはへしひ
やすくといひけれともなをもおもひとくあらそうつこ郎のこと

にうの所くされをおりにかひそよそりあらそまそうつおむを
これまくまそしら後の気らん聖思ひ所く十郎より伊ひあそせ
ひとていうき人を所りけし十郎をよひまをるといけとなくゆ
きむけゆるるなまはれそ十郎をかこはらにまひきよせて
まにかこりひとてかしけりふ女あり かこちひ所にしれ世にあそ
たまひらりあまそいりなるこしこそしうとおほ所りなくおほゆれ
そり後乃たよりれをとつれりまつまそをとするならひるこな
にうそくるしの家へきうの色くうくし御へしせしこまられそ
れやりこれいふこしなりうてもりやうれ事とそゆめにも志
らてうをたまりまとめといふ女をうなりてかこうひ我よひいこと
てしりくとのうる十郎そそのりさしてようの事あり安
まはそれ程をまつまそもなくくれかとよりう色里るをあの事

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

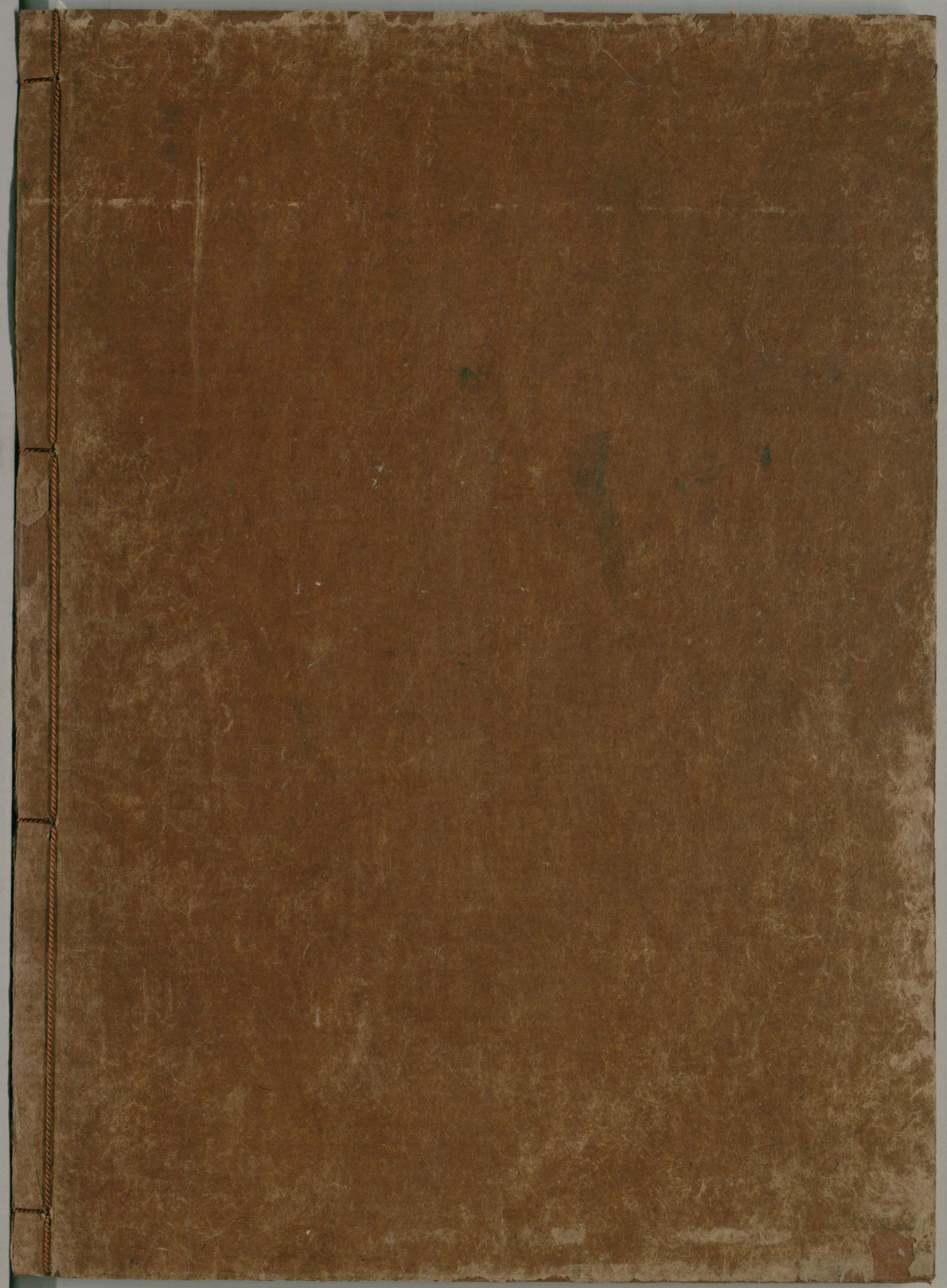
国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243
ガラス使用

曽我物語巻第十二

国立国会図書館

国立国会図書館　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『曽我物語 12巻』 請求記号 WA7-243

ガラス使用